

都議会 民主党

Report 2015

レポート

秋号

発行：都議会民主党政策調査会
〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1
TEL 03-5320-7230 FAX 03-5388-1784
http://www.togikai-minsyuto.jp/

いしげ

東京都議会議員

石毛しげる

2015年7月31日をもちまして、2年間の幹事長任期が終了いたしました。以下は都議会民主党を代表して質問に立った、東京都議会第1回定例会の代表質問の内容、政務活動のご報告です。

長期ビジョンの実効性を高めよ

Q 質問 石毛しげる <都政運営について その1>

—長期ビジョンについては、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会は通過点である。その先の未来のビジョンや都民の幸福を実現する道筋を明らかにすべきだ。長期ビジョンに込めた知事の思いは。

A 答弁 舛添知事

誰もが幸せを実感でき、誰もがそこに住み続けたいと思える都市に東京をつくり上げることが私の最終目標であり、その実現に向けた都政の大方針が東京都長期ビジョンだ。オリンピック・パラリンピックの成功はもとより、そのさらなる先を見据えた東京の持続的発展の実現を掲げ、将来の東京の姿を明確に示している。

Q 質問 石毛しげる <都政運営について その2>

—長期ビジョンと3カ年の実施計画に、多くの項目で数値目標が盛り込まれたことは評価するが、財政的な裏づけは不十分だ。また、現状の数値がなかったり、目標が明確でないものもある。計画の実効性を高めることが必要ではないか。

A 答弁 川澄政策企画局長

長期ビジョンに掲げる政策は、新たに創設する基金なども活用して優先的に予算措置をする。政策目標も都民にわかりやすく示すとともに、政策の確実な推進を図るため約360項目を数値化した。



Q 質問 石毛しげる <格差是正について>

—格差是正への取り組みは人口減少時代の東京都政において、東京の持続的成長にもつながる最も重要な課題の一つだ。知事の基本認識は。

A 答弁 舛添知事

機会の平等が損なわれれば、格差が固定化し、社会の流動性が低下するだけでなく、意欲がありながらも再チャレンジもできない社会となりかねない。非正規雇用の正規化や高校中退者の就職への支援、あるいは子育てと仕事の両立といった課題に対して積極的に政策を展開する。

Q 質問 石毛しげる <生活困窮者自立支援策について>

—生活困窮者自立支援策について、貧困の連鎖を防止する上で重要な子供の学習支援が多くの区市で実施され、しっかりと機能するよう、都としても強力に取り組むべきだが、見解を伺う。

A 答弁 梶原福祉保健局長

現在、生活保護世帯の子供を対象に、学習塾の費用助成等を行う区市を支援し、低所得世帯の受験生に、学習塾や受験料の支援を実施。高校進学に向けた学習会等の事業は、本年4月から27の区市に拡大。さらに多くの区市で実施されるよう、事業の立ち上げに要する経費の補助を独自に行い、区市の取り組みを積極的に支援する。

Q 質問 石毛しげる <子育て支援について その1>

—保育所の子どもの声を騒音規制の数値からはずすという、今回の環境確保条例の改正では、子育てへの理解を高め、共存に向けた話し合いをより丁寧に行うなど今後の対応が重要だ。子育て環境の整備を一層進めるべきだが、知事の見解は。



A 答弁 舛添知事

子供の声をめぐっては、音の発生源である施設設置者と近隣住民でじっくりと話し合い、相互の理解を深め、信頼関係を構築することが大事だ。条例改正により、地域での円滑な問題解決を促し、社会全体で子供が健やかに育つ環境の整備につなげていきたい。

Q 質問 石毛しげる <子育て支援について その2>

—子育て家庭の不安を軽減するには、身近な子育て拠点での、妊娠期からの継続的なサポートが求められている。地域の子育て相談支援体制を強化すべきだが、見解を伺う。

A 答弁 梶原福祉保健局長

都は2015年度、妊娠期から子育て期まで一貫して支援するゆりかご・とうきょう事業を開始。妊娠届の提出時等に育児パッケージを配布し、出産、子育てに向けた準備を支援するとともに、保健師等が各家庭の状況を妊娠期から把握し、支援プランを作成するなど、地域における子育て支援体制の強化を支援する。

Q 質問 石毛しげる <公文書の活用について>

—都公文書館は現在、多摩図書館の隣接する場所へ新館建設が進められている。国の重要文化財だけでも3万件以上もある貴重な歴史的資料を積極的に活用することが重要だ。都公文書館の役割に関する認識と所蔵資料のさらなる活用について、知事の見解は。

A 答弁 舛添知事

都の公文書館は、明治期以降の90万件を超える文書を所蔵しており、首都東京の足跡を、過去から現在、そして未来につなぐ重要な施設だ。公文書館は都民の税金を使ってきちりと整備するに値すると思っている。

Q 質問 石毛しげる <高齢者施策について>

表面より続き

—本人の希望や資力に合った暮らしの場の確保は、地域包括ケアシステムの大前提だ。しかし、65歳以上の高齢者が190万人に達すると見込まれる中で、都が長期ビジョンで示した整備目標は、2025年までに高齢者が地域で安心して暮らせる社会を実現するために十分なのか疑問といわざるを得ない。高齢者が地域で安心して暮らせる環境を一層促進すべきだが、都の見解は。

A 答弁 梶原福祉保健局長

都は2025年度末までに、特別養護老人ホームを定員6万人分、老人保健施設を定員3万人分、認知症高齢者グループホームを定員2万人分整備するという、10年後の介護サービス基盤の整備目標を示した。今後とも、地域包括システムの構築という考えに立ち、高齢者が安心して地域で暮らすことのできる環境整備を進める。

Q 質問 石毛しげる <地域での看取りについて>

—地域での看取り体制の確保にはとりわけ十分な体制整備が必要である。地域包括ケア体制の構築について、在宅療養を望む高齢者のさまざまなニーズに応えるため、医療と介護の連携による、サービス提供体制を整備すべきだが、見解を伺う。

A 答弁 梶原福祉保健局長

住みなれた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けたいという高齢者のニーズに応えるため、窓口の設置促進や、複数の在宅医が相互に補完し、訪問看護ステーションと連携しながら、24時間体制で訪問診療等を行う取り組みへの支援などを実施。今後も、医療と介護の連携を一層強化し、地域における在宅療養体制の整備を推進する。

Q 質問 石毛しげる <障害者スポーツについて>

—身近な場所での障害者スポーツの推進について、パラリンピック開催に向けて、障害の有無にかかわらず身近な施設でスポーツが楽しめる機会をつくるべきだが、見解を伺う。



パラリンピックのマーク “スリーアギトス”

A 答弁 中嶋オリンピック・パラリンピック準備局長

障害のある人がスポーツを楽しむためには、ハード面における環境整備に加え、管理運営面などソフト面の改善が必要。スポーツ施設整備の補助制度を開始し、市区町村が行う施設のバリアフリー化を支援。来年度は、施設管理者が配慮すべき点を取りまとめたマニュアルを作成し、広く周知し、障害者が利用しやすい施設への改善を促す。

Topic 2月22日 東京マラソン2015開催

都庁前のスタート地点前にて、目の前を駆け抜ける35,000人以上のランナーを見送りました。一般ランナーの42.195kmコースは、34,045人96.4%の完走率とのこと。車いす選手は17人出走。ジュニア&ユース、視覚障害者・知的障害者・移植を受けた方は10kmコースで487人出走されました。

チャリティ枠での出走者は2,756人に上り、11,611人のボランティアが大会運営を支えました。大会運営者、沿道住民、警察・消防、その他数多くのイベントなど、本当に多くの人の支えがあって運営されています。

今年で9回目となりましたが、この大会を通じて、多くの都民がランニングやボランティアをはじめのきっかけとなり、またチャリティが普及するなど、都が関わって行う大会として都民に還元できるものになってきたように思われます。

都議会幹事長討論番組放映 テレビ東京幹事長討論番組で議論

平成27年度予算を審議する、第1回都議会定例会の開会に際して、各会派幹事長が出演するテレビ東京の“東京都議会各会派幹事長に聞く”が放映されました。

都議会民主党幹事長として石毛しげる都議が出演し、2月18日の都議会本会議で行われた知事の施政方針表明の評価や予算案、そして景気や雇用対策、子育て・福祉、2020年東京オリンピック・パラリンピックなど、都政が直面する幅広い課題について討論が行われました。



3月5日

ラグビー成功議連総会開催

日本中が歓喜したラグビーワールドカップ2015イングランド大会の記憶が新しいところですが、2019年のラグビーワールドカップの開催都市に、東京都が選ばれました。アジアで初めての開催となります。

3月5日、日本ラグビー協会会長をはじめとするスポーツ団体幹部や在京4チームの4選手が議連総会に出席し、招致成功の報告と、大会成功に向けて挨拶をされました。

都議会では、石毛しげるが副会長を務める“東京都議会ラグビーワールドカップ2019日本大会成功議員連盟”を結成、東京への大会招致と成功を支援してきました。今後も、本大会がオリンピック・パラリンピック成功への後押しとなるように、しっかりと取り組んでいきたいと思います。



総会に来てくれた選手とゆりーと

都民、国民に愛されるオリンピック・パラリンピックを



新国立競技場の整備計画が白紙となり、大会エンブレムも、撤回に追い込まれました。都議会民主党は、これらの問題で2020年大会の機運醸成に水を差されたことは残念であり、同じ過ちを決して繰り返してはならないと考えています。

そこで、2020年大会の成功に向け、新国立競技場をはじめとした開催計画の実施に当たって、都は意思形成過程の透明性を確保し、情報を広く公開するとともに、国や組織委員会に対しても、これら対応を促すべきと主張しました。

舛添知事は、2020年大会を成功に導くために、情報公開を行い、広く情報を共有することが肝要であり、新国立競技場問題の反省を踏まえ、都立施設の整備の進捗状況を公表していく、と答弁しました。

また、開催都市として国や組織委員会に対し、事業の透明性を高めるための働きかけを行う、と答弁しました。



東京ひとりひとりが輝くまちへ

石毛しげるのホームページは、こちらから→

プロフィール
石毛しげる



- 昭和28年生まれ。
- 慶応大学(文)卒業、法政大学(経済)卒業、早稲田大学大学院修士課程修了(公共経営研究科) 早稲田大学大学院博士課程修了(公共経営研究科)
- 保谷市議会議員(当選5期) 西東京市議会議員(当選1期)、西東京市議会議長、東京都議会議員(当選3期)
- 都議会警察・消防委員会副委員長、経済・港湾委員会委員長、環境・建設委員会委員、都議会民主党総務会長代行、東京都監査委員、都議会民主党幹事長を歴任
- <現在> ●東京都議会議員 ●経済・港湾委員会委員 ●(財)東京都交響楽団評議員
- 都議会2020オリンピック・パラリンピックを成功させる議員連盟副会長
- 都議会ラグビーワールドカップ2019日本大会成功議員連盟副会長
- 金剛寺住職

朝の駅立ち「都政報告」
継続中!

東京都議会議員 石毛しげる 事務所

〒188-0014 西東京市芝久保町 3-6-23

TEL:042-460-0855 FAX:042-460-0856

E-mail shigeru@ishige.info http://www.ishige.info

※ご意見、ご要望をお寄せください。(E-mail または FAX でお願いたします。)

都議会民主党西東京市支部

